

外国人労働者30万人国外退去、ショッピング・モールはがらがら

それでも砂上の楼閣は
「永遠に繁栄する」と強気のドバイ人

去年の夏前までドバイの新聞には毎日、厚さ2cmのチラシが2束ついてきた。ほとんどが不動産広告、それも多くがオフプラン物件（設計図段階の物件）の広告だ。だが、秋以降、量が減り、今は厚さ1cmのものが1束。最低20%以上建設済みでない物件の販売が禁止され、典型的な投機対象だったオフプラン物件の広告も姿を消した。

割近くを占めるが、6月までに30万人を帰国させる。ドバイでは解雇された外国人は1ヶ月以内に国外退去しなければならないが、不法滞在者が急増したため、政府は「出頭すれば罪は問わず、帰国の航空運賃も負担する」と呼び掛けている。特に対象になっているのが、数が増えすぎ、労働争議も起こしたインドなど南アジア系の労働者だ。

外国人労働者はその本国に
どつては貴重な外貨獲得の戦
力であるため、『追放』に反対
する本国政府もある。例えば、
今年4月、タイのパタヤでの
ASEANサミットが中止さ
れると、フィリピンのアロヨ
大統領は急遽ドバイに飛んだ。
事前にUAEのガルフニュー
ス紙に「フィリピン人は依然、
UAEで最も求められる種類
の労働者だ」と訴え、ドバイ

くのはあのマドンナー このほかにリチャード・ギアやジャン・レノ、日本人タレントもSMAPや黒木瞳、坂本龍一、渡辺謙が登場いずれも2～5年前に、首都圏がミニバブルに沸いた時のマンショングのテレビCMだ。確かに東京はバブルだったのだ。
ちなみに、「ニシアラ～イ」は足立区の西新井。都心よりも埼玉原に近い。マドンナCMのマンションが建つ有明は埋め立て地。いずれも、本人たちから受けるセレブなイメージとはかなり遠い場所。

が大規模化したため広告費も増え
バリウッド物件が増えたよう
に」(都内不動産関係者)。ちなみ
に、リチャード・ギアの物件は約
2800戸。1戸あたり販売価格
が5000万円としても30億円ほ
どの広告費になる。では、バブル
弾けた今はと……。

「分譲で買った人たちが、売りた
くても売れず賃貸にしている」

「マンションの入り口は、売り出
し物件の看板広告の山。まるで不
動産屋のよう」(マンション住民)
そもそもそのほとんどがセレブ

東京
デイカ・ブリオが「ニシアラムイ」と
叫んだマンションCMのその後

エジプトの金融機関によれば、現在、住宅価格は去年5月～6月のピーク時に比して34%も下落し、さらに20%ほど下落する可能性もある。

不動産バブル崩壊を受け、ドバイ政府は外国人労働者の「追放」に乗り出した。今年3月時点ではドバイの人口は179万人。うち外国人が9



ドバイ沖の人工リゾート島「パーム・ジュメイラ」。デビッド・ベッカムを始め、世界のセレブがここに別荘を買った。ドバイ不動産バブルの象徴だ。

では「イリビン人労働者の会合に出席して励ました。だが、まるで槌音が止んだかのような日本での報道とは裏腹に、建設現場は表面的に相変わらず活況を呈している。ドバイ沖に建設が予定されていた多くのリゾート島のうち、パーム・ジュベルアリム・ディラ、ザ・ワールドなどは工事が続いている。計画されたが、すでに着工中の段階のものは見直され、延期されたが、すでに着工中のも

のが中止になつたわけではな
い。「バブルは崩壊したが、市
場が淘汰、正常化された。こ
れ以上価格は下がらない」（現
地の日系コンサルタント、ミ
ラージュ・グループ会長・福
田一郎氏）という見方もある。
もつとも去年の11月にオー
プンした世界一の店舗数12
00を誇るドバイモールは昼

でも人はまばら。建設中の多くのオフィスビル、コンドミニアムが完成した際、実際にどれだけの人が働き、住むのか疑問だ。だが、「中東は政情が不安定なので、中東の金持ちは安全なドバイの物件を買おうとする」とドバイ人は話す。どこまでも強気である。

ンのテレビCMだ。確かに東京はバブルだったのだ。
ちなみに、「ニシアラ～イ」は足立区の西新井。都心よりも埼玉県に近い。マドンナCMのマンショングが建つ有明は埋め立て地。いずれも、本人たちから受けるセレブなイメージとはかなり遠い場所。今思えば、相当、無理があった。
だが、当時は右肩上がりのマジシャンブーム。ギャラだけで数億

「分譲で買った人たちが、売りた
くても売れず賃貸にしてる」
「マンションの入り口は、売り出
し物件の看板広告の山。まるで不
動産屋のよう」(マンション住民)
もともとそのほとんどがセレブ
とはほど遠い場所。少なくとも今
ハリウッドスターたちが住むよう
な状態ではないようだ。

円というハリウッドスターを起用

Mの、その後

アテイ」と